

県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科（仮称） 第2回プレ講座を開催しました

—結果概要—

平成29年10月13日（金曜日）、慶應義塾大学日吉キャンパスにて、『保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科（仮称）プレ講座 -Introduction to Health Innovation-』の第2回目の講義を実施しました。

今回の講義は、実際のヘルスイノベーション研究科での授業を想定し、英語で行われました。

鄭先生による講義1では「未病」の可視化と行動変容の関係について、竹内先生による講義2では臨床統計学を用いたイノベティブな臨床研究についての講義がありました。その後のグループワークでは本日の講義内容をもとに、どのように人々の行動変容を促すかについて活発な議論が行われ、各グループから様々な提案について発表がなされました。

（講義資料は「プログラム」のページで公開しています）

1 第2回プレ講座の概要

日 時 平成29年10月13日（金曜日） 19時00分から21時30分

場 所 慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館2階 多目的教室

参加者数 約50名

2 プログラム

19:00-19:45 講義1

未病と行動変容：センター・オブ・イノベーションの活動から

鄭 雄一（東京大学大学院工学系研究科・医学系研究科教授）

20:00-20:45 講義2

臨床研究イノベーションの品質管理ツールとしての臨床統計

竹内 正弘（神奈川県顧問、北里大学薬学部教授）

20:45-21:20 グループワーク

黒河 昭雄（科学技術振興機構アソシエイトフェロー）

- ① 健康に関する状態・情報をどのようにすれば可視化することができるのか。また、可視化するうえで重要なことは何か。
- ② 可視化した健康状態をもとに、どのようにすれば行動変容につなげることができるか。そのための方策は何か。

21:20-21:30 講評、質疑応答

会場の様子

